

別 紙

第61回 静岡県公衆衛生研究会 優秀演題ホームページ掲載要旨

分 科 会 名	第 4 分科会	演題番号	404
題 名	浜松市の河川におけるマイクロプラスチック調査（第2報）		
所 属	浜松市保健環境研究所		
氏 名	○鈴木玲奈、山田江見子、里見陽祐、山下としえ		
要 旨 (簡 潔 に)	<p>令和3年6月に環境省から新たに河川マイクロプラスチック調査ガイドラインが発表されたことを受け、当所では2年ぶりにマイクロプラスチック調査を実施した。令和5年度は、馬込川と都田川の2河川8地点を対象とした。河川ごとの特徴や、上流から下流にかけての推移、季節変動について調査した。</p> <p>その結果、農業地帯を流れる都田川ではマイクロプラスチックはほとんど検出されなかった。一方で、市街地を流れる馬込川では複数のマイクロプラスチックが検出された。検出数は長径が短いほど多く、数密度は下流に向かうほど高くなる傾向が見られた。</p> <p>馬込川において検出されたマイクロプラスチックを形状別に見ると、いずれの地点においても繊維状が最も多かった。また肥料の被膜殻と推定される一次マイクロプラスチックもいくつか検出された。</p> <p>夏季と冬季の数密度を比較すると、上流域では夏季の方が、下流域では冬季の方が、高くなることが確認された。</p>		